

新潟日報

2013年(平成25年)

11月8日
金曜日

尾畑酒造が三越伊勢丹と共同

「真野鶴」の醸造元、尾畑酒造(佐渡市)は三越伊勢丹(東京)と共同で、味や香りからイメージしたイラストのラベルを付けた日

料理関係者を招いた意見交換会をこのほど都内で開いた。

「日本酒アートラベルプロジェクト」と銘打ち、ワインのように酒の質をイメージしたイラストによるラベルを付け、親しみやすくしようと考えた。

味や香りからイメージ

意見交換会には約40人が参加した。純米酒や大吟醸など8種類の日本酒を試飲し、味や香りからイメージする色や物を書いてもらい、どれが初心者向きか意見を求めた。早速、イラストレーターの平島毅氏が、参加者のイメージを基にイラストを描いた。



①日本酒アートラベルプロジェクトの第1弾として尾畑酒造の8種類の酒を試飲してもらいイメージを聞いた

②尾畑酒造の日本酒を試飲した人のイメージを基にイラストを描く平島毅氏

●東京・丸の内

込みを語った。

日本酒のラベル新開発へ